

# 風

かぜ カゼ

2002. 11-16発行No. 51

## ◇今年の報恩講のおとりつき

今年の報恩講は天気にも恵まれました。又、日曜日と重なりましたので、お若い方を含め多くの方にお参りをいただきました。例年にない賑わいで、有り難いご縁を結んでいただきました。今年のご講師は昨年が続いて芝田正順師にお願いしました。

人間は全てのものに「こだわり」を持ち続けます。特に生については私たちは執着が強く「生」のみを追い続けます。併し生は死を離れて存在しません。丁度コインの裏表のように表は裏があってはじめて存在します。生と死を別々に捉えるのではなく、生死(ショウジ)の問題として法に問い私に問う生き方を親鸞聖人さまが私たちにお示しいただいたのです。その要の教えが「他力」のおさえです。と結んでいただきました。

## ◇親鸞さまのお名前のこと 追記

前号で親鸞とお名前が改められたのは流罪赦免後と記しましたが、その時、師法然さまはご往生されていました(80歳)ので、法然さまは親鸞というお名前はご存知なかったこととなります。親鸞さまは思想的影響を一番強く受けた七高僧の中の天親菩薩さまから親を、同じく曇鸞大師さまから鸞を頂かれての名前だと云われています。

## ◇今月の安楽寺伝道掲示板

三つのしんせつ

他人に親切  
自分に辛切  
法に深切



〒105-0014

東京都港区芝1-12-18 安楽寺 03-3451-1509